

北陸民放クラブだより

富山

美術同好会だより

長谷川 章子 (KNB)

「富山県美術館」が昨年8月26日に富山駅北の環水公園西側に全面オープンしました。

新美術館は正面側が全面ガラス張り、2階ロビーからは立山連峰をはじめ環水公園周辺ととても素晴らしい景観が広がっています。

建物の中は木がふんだんに使われ、中央廊下は木の香りが漂い壁と天井の奥には足音が響かないよう吸音材が張られています。

屋上はオノマトペという遊具の庭園となっていて家族連れで訪れても楽しく過ごすことの出来る美



オノマトペの屋上

術館です。

芸術を開く扉は2階と3階で企画展とコレクション展の大小6展示室。

開館記念展のテーマは「LIFEー楽園をもとめて」。国内外の美術館・館所蔵の作品が「子ども」「愛」など8つの章で構成され印象派のルノワールほか137作家170点を展示。

コレクション展では県が新たに購入した藤田嗣治の二人の裸婦が初披露され大きな注目を集めました。

石川

秋の小旅行 富岩運河環水公園・水上ラインと富山県美術館

永山 徹 (ITC)

金沢駅に集合してみると予定のIRいしかわは事故のため不通、急ぎよ北陸新幹線での出発となった。

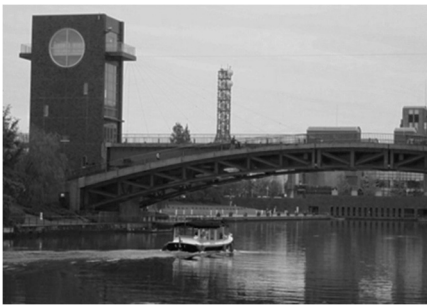
富山駅からはライトレールで岩瀬へ、北前船廻船問屋「森家」見学の後「富岩運河水上ライン」に乗船と相成った。

昭和10年に完成したこの運河、

途中の中島開門で上流と下流の水位差2.5mを調整する。日本では最大級の高低差との事。船に乗ったままの水のエレベーター体験、わずか10分足らずではあるがパナマ運河もかくありなんと想像する。約1時間で緑豊かな富岩運河環水公園に到着した。

昼食後は美術館での鑑賞タイム。開館記念展ではピカソ、ルノワール、青木繁ほか有名作品がズラリ、よくこれだけと感心するばかり。

その後環水公園をゆっくり散策しながら富山駅へ。帰りは予定通りの各駅停車で金沢着、20名の参加、いろんな乗り物体験の楽しい一日だった。



富岩運河環境水公園

福井 50年前の国体

中野 正文 (FTB)

私は50



中野副会長

23回国民体育大会「秋季大会」

出場し、スモールボア、ライフル伏射60発競技で3位に入賞する事が出来ました。

まさか自分が入賞するとは思ってもいなかったのが表彰台に上がった時は、とても感激しました。あまり期待されていなかったのか、番狂わせだったのでしょうか。当日の記録写真はありません。

ライフル射撃の会場が、お墓のある足羽山の近くだったので、大好きだったお祖母ちゃんのお墓参りをしてから射撃場へ行ったら、競技時間が早まっていて、他の選手は、すでにアップし終えていて焦ったことをよく覚えています。今年開催される「第73回国民大会」に全国から福井に訪れる選手、役員の方々に、競技以外にも福井の食・歴史・文化に触れていただき、福井の良さを感じてもらいたいです。